

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」宇部鶴の島校（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員が常に付き添った1対1での個別療育を行っております。	児童の発達年齢や特性に応じた教材を作成している。	スケジュールがかぶって他の利用者様と同じスペースで活動する際には、一緒に活動ができそうであれば、指導員が子ども達の様子を見ながら緩衝材となって仲介しております。
2	ご希望があれば職員が付き添って、支援の意図を説明しながら見学をしていただいております。	保護者様の不安が解消できるように保護者様に寄り添ってお話をさせていただいております。	保護者様同士が交流を持てる機会を作り、悩み事の共有や相談ができるようにしております。
3	他校舎の専門職（PT・OT・STなど）に相談できるシステムが整っております。	希望される方には、他校舎の公認心理士による「新版K式発達検査」「WISC検査」を実施させていただいております。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等デイサービスの利用者様が多く、児童発達支援の支援提供回数が多いこと。	現在までに利用者様5名と少ないため、今後課題を見つけていく。	・発達支援センターや他の児童発達支援施設の支援のようすを見学させていただく。 ・他校舎の専門職（PT・OT・STなど）に助言をいただく。
2			
3			

公表日

2026年1月15日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」宇部鶴の島校
(児童発達支援)

利用児童数

2

回収数:

2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※ 1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	1	0	0		毎日、支援後に指導訓練室の清掃・消毒を行っております。
適切な 支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラム(※ 2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	1	0	1		実施できていないため、公園への外出支援など、機会を設けていきたいと考えております。
保護者 への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	0	1		まだ実施できていないため、機会を設けていきたいと考えております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	1	0	0		会報ではなく、HPIにてブログ更新を行っておりますので、周知していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	1	0	0		個人情報は、鍵付きの書庫に保管しております。破棄する際には、必ずシュレッダーをかけております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1	0	0		月に一度、避難訓練を実施しております。児童発達支援の利用者様が参加できるよう、機会を設けていきたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	1	0	0		トラブルや支援中に気になる様子があれば、保護者様に必ずお伝えするようにしております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」宇部鶴の島校 (児童発達支援)			公表日	2026 年 1 月 15 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		遊び、エクササイズ、勉強などエリアを分け、利用者様全員のスケジュールをそれぞれ作成することで、同じ時間帯に同じエリアで過ごす人数を調整し、スペースを広く使えるようにしています。	ご利用の時間帯によっては、放課後等デイサービスと同時に支援を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		国の配置基準を満たしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	構造化を行い、遊び、エクササイズ、勉強などエリアを分けています。	2階にある指導訓練室へは階段で上がらなければいけないため、身体障害の方へのバリアフリーはできておりません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、支援後に指導訓練室の清掃・消毒を行っております。構造化を行い、活動内容に合わせてエリアを分けております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		他の利用者様の様子が気になって勉強が難しい場合は、集中できるようパーテーションを用いて空間を区切ったり、1階の個室に行ったりしています。 また気持ちを崩した際などに入れるよう、指導訓練室に個室「感情コントロールの部屋」を用意しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎朝のミーティングで支援予定の確認を、就業前の終礼にてその日の利用者様の様子を情報共有しております。他にも定期的に会議を行い、支援についても目標や問題点、改善策等を話し合っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度実施し、ご意向を伝えていただけるようにしております。いただいたご意見は、職員全員に周知して改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝のミーティングや就業前の終礼にて、支援について確認したり意見を交換したりしております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価ではありませんが、同じきらりの他校舎による内部監査を毎年行っております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事例研修、エリア内研修、発達支援研究所研修、虐待防止研修、感染症研修等を行い、また外部の研修に参加することを通して、必要な支援の情報を得ることを努めております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		児童発達支援計画に基づいて支援プログラムを作成、HPIにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援ミーティングを定期的に行い、利用者様一人一人の課題と目標を考えております。また事業所内相談や支援終了時のフィードバック等で保護者様からご意見をお伺いした上で、児童発達支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の支援の様子の共有に加え、支援ミーティングを行うことで、利用者様の成長や困り感を指導員と児発管で共有し、児童発達支援計画を作成しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画は職員間で共有し、計画に沿って支援が行われるようにしております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		年に1度保護者様にお願ひしてアセスメントを行っております。またご家庭や幼稚園での様子を送迎時等に確認したり、日々の終礼などで利用者様の様子を共有しております。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに則った児童発達支援計画を作成し、支援を提供しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		その日のプログラムの原案を作成し、毎朝、職員全体で話し合い、修正・決定をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者様の様子を見たり、保護者様からのご要望を伺ったりしながら、教材等を準備し、支援内容が同じにならないようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		普段は個別療育を行っておりますが、児発小集団にてイベントを実施いたしました。場合によっては、ご利用時間の重なっている放課後等デイサービスの利用者様と一緒に遊ぶこともあります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		伝え忘れないよう、朝のミーティングで細かく確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を行ってその日の利用者様の様子を情報共有し、月に1～2回程度、支援ミーティングを行って利用者様の様子を振り返っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録を作成し、振り返ることができるようしております。	
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		支援ミーティングにて児童発達支援計画の目標達成状況などを話し合っております。半年に1度、モニタリング会議を行って計画の見直しの必要性を判断しております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管または担当指導員が必ず出席しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		小中学校、障害福祉課、協力医療機関との連携を図りながら、支援体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		実際に幼稚園を訪問させていただき、利用者様の普段の様子について情報共有を行ったことがあります。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		今年度は該当者がいらっしゃいませんでした。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		療育の参考に、児童発達支援センターに見学のお願いをするなど、助言をいただく機会を設けていただいています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		まだ実施できていないため、機会を設けていきたいと考えております。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に利用者様のその日のご様子だけでなく、気になったことや保護者様の心配事等をお伺いしております。 また事業所内相談や支援見学の機会を設け、お子様の発達の状況や課題について、保護者様と共通理解を持つよう努めております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		適宜、宇部市や他事業所などが行っているイベントや研修のチラシを共有するようにしております。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や内容変更時に、紙面に記載した内容をご説明し、お渡しさせていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童発達支援計画をの原案を作成後、モニタリング会議を行って、本当に適した目標設定となっているか確認し、本計画を作成しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援計画の内容を説明し、同意をいただいております。同意をいただいた計画書はファイリング、保管しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		会議時、送迎時、お電話等、また事業所内相談や支援見学の際にご相談いただき、ご助言や支援をさせていただいております。職員間での情報共有もしております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		まだ実施できていないため、機会を設けていきたいと考えております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあった場合には、すぐに日程を調整し、お話を伺うようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		会報ではなく、HPにてブログ更新を行っております。またイベントを行う際は、チラシを作成するなどしてご連絡しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報、鍵付きの書庫に保管しております。破棄する際には、必ずシュレッダーをかけております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者様の発達段階に合わせて、口頭説明だけでなく、文章やイラスト等を用いながら伝えております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の方を招待することはできておりませんが、ごきょうだいの方を招待したり保護者様に支援に入っていただいたり、身近な方から招待していければと考えております。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時対応や防災マニュアル、感染症について等は契約時に書面にて周知しております。嘔吐物処理をはじめとする感染症訓練等を定期的に行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、保管しております。今年度は児発の利用者様にも避難訓練に参加していただきました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者様に情報を提供していただき、職員間で情報共有を行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	該当者がいないため医師からの指示書はありませんが、保護者様からの情報提供にて、アレルギーについて職員間で周知を行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しております。またKYT研修、ヒヤリハットや事故となった事例を話し合う研修を受講するなどして、事故防止に努めております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	トラブルや支援中に気になる様子があれば、保護者様に必ずお伝えするようにしております。また安全計画に基づいて避難訓練を行った際、保護者様に利用者様のご様子をお伝えするようにしております。	

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成し、同じことが起こらないように対応策を職員全体で共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社で虐待防止・身体拘束等適正化委員会を設置し、様々な事例を想定して研修を行っております。また議事録を職員間で共有、その後保管しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		ご利用者様に危険が及ぶのを防ぐために身体拘束を行うことがあると同意書をいただいております。	